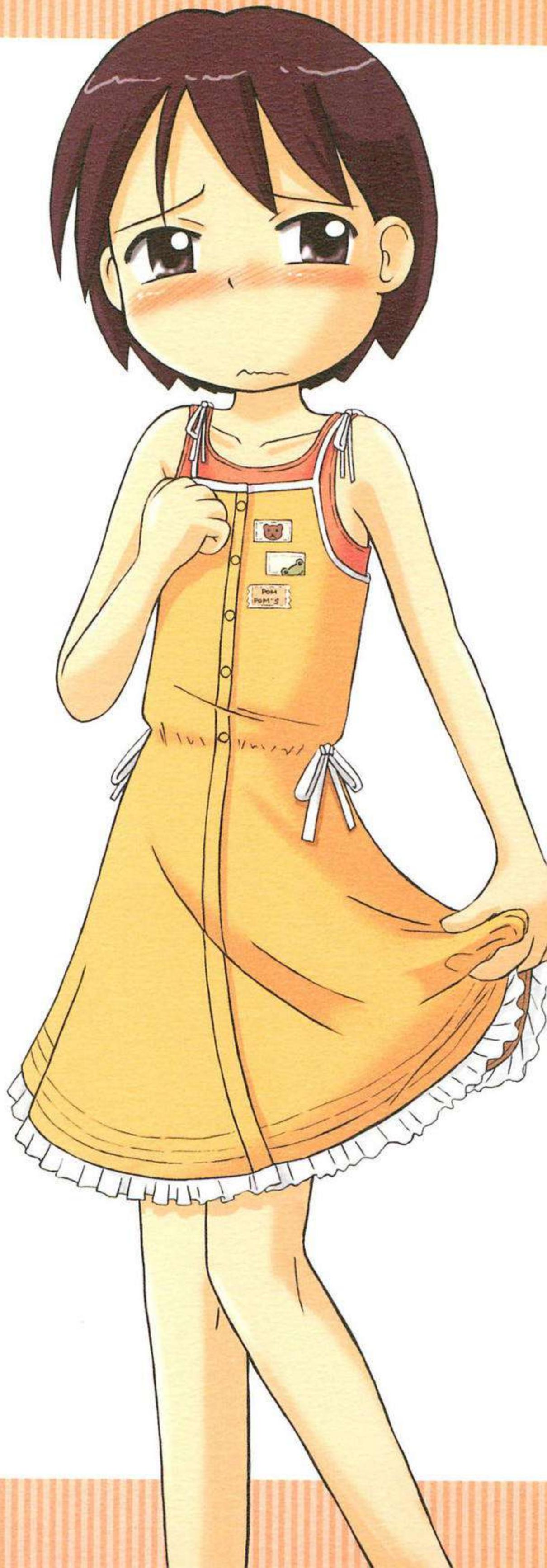


姊妹本

He111Z-2



ということで、本来入るはずだった前置き頁が
破壊的に間に合わなかつたので、
こうして文章で説明が入つたりするわけです。てへ♪

§あらすじ

今日はどれみさんのお誕生日。お誕生日会に呼ばれたようちゃんは、
着ていく服で悩んでいました。
たまには女の子っぽく着飾ってみようにも、
どんなんが似合うかなあ。うーん。

アレコレ着てみるとどういまいち決まりません。
さつきのほうがよかつたかなあ。うー、あー！

そこでようちゃんひらめきました。
「…そうだ、全く同じ顔と体型の
じゅんちゃんが居るじゃない！」
ということで、弟にも服を着せて、
実際に見比べていく事にしました。

「ねえじゅんちゃん、
お誕生日会に着ていく服なんだけど
選ぶの手伝ってくれない？」

『うん、いいよ

単純にどれがいいか選ぶのを手伝うのかと思つ
二つ返事で答える弟。

すると姉は、普段着ないワンピースを差し出し
さらりと言う。

「じゃ、コシ着て？

『ええーっ！？

手伝いって、そういうことなの！？

当然、恥ずかしいからと拒む弟に
一度いいって言ったのに！と姉。

「私しか見てないし、気にすることないじゃん！
しぶしぶ手伝う事にした弟。

『スカートって…すーすーするんだなあ。

それにしても、普段着ないクセに
結構スカートとか持つてゐるんだ、ようちゃんって。
普段からきけばいいのに、けつこうかわいいじゃん。
鏡に映る自分の姿を見て、思わず考えてしまう弟。

『ち、ちがうよ、ボクじゃなくって、
ようちゃんが、だからねつ
誰に言うでもなく言い訳をする弟。

『ボクじゃなくって、ようちゃんが、こんな格好してたら
かわいいなあって…いや、今でもかわいいけどさ？

意識しないようにすればするほど、ドキドキしてしまいます。
そんな弟の様子に気づいた姉は、とつておきの服を持ってくるのでした。

『ねえ、次はコシ着てよvv

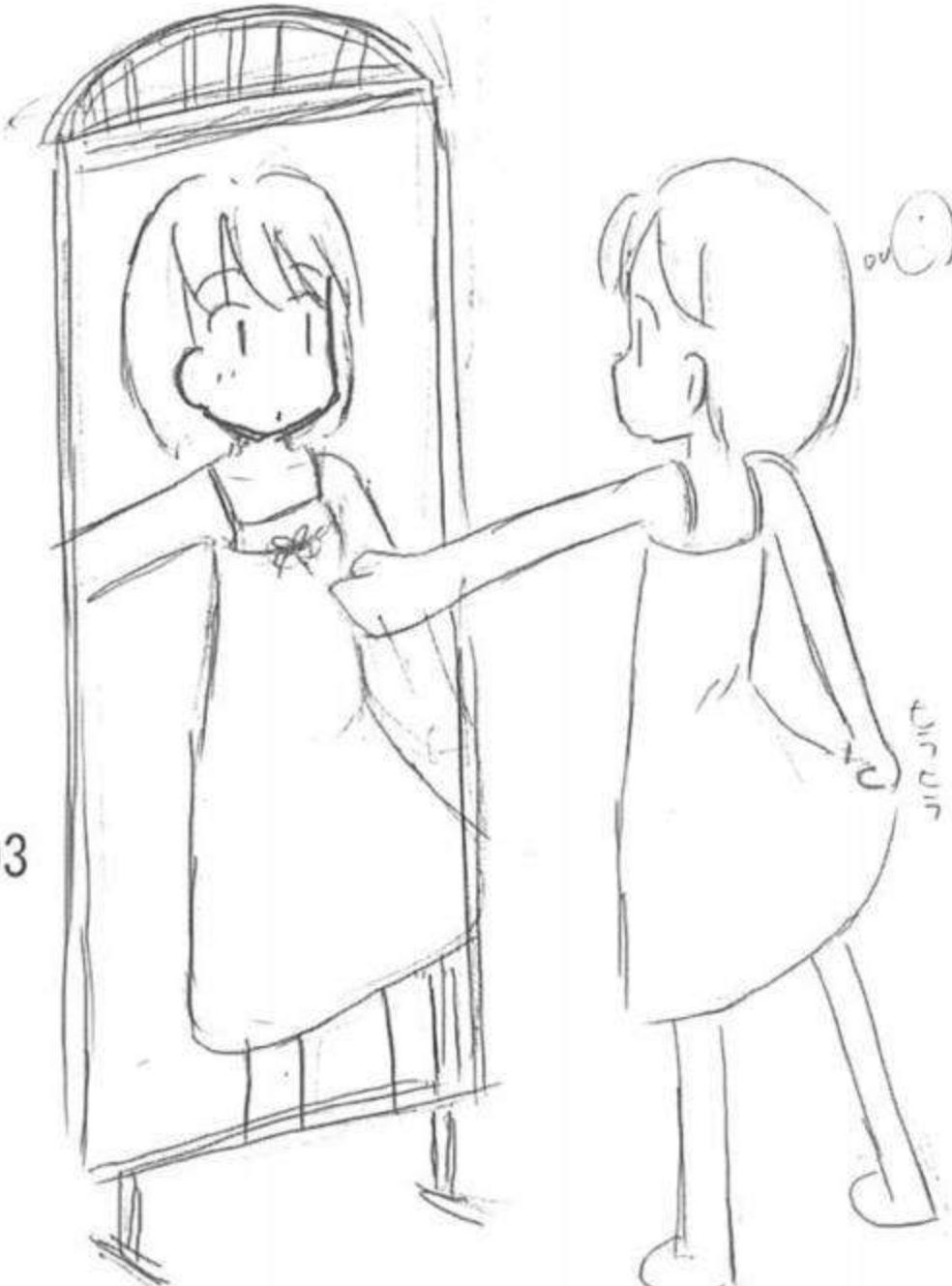
『ちょ、この服、前貰ったトキに「私の趣味じゃなーい」って言つたじゃない！』

『気が変わったのー。ほら、はやくう

しぶしぶ着替え終わつた頃、姉は更におぱんつを差し出します。「あ、コレも履いてね

『ちょ、ぱ、ぱんつじゃない！ や、やだよ、ボクそんなつ

て、前置きがあつたと思いねえ！



そんなんこと言うとー

お女の子の服着て
おちんちんこんなにしちゃってるの
みんなにばらしちゃうゾー?

うわあ、
ぱんぱんだよー?

わっ!!!

ぴりりー

えい!

えつ? ちょ、ようちゃんつ
だ、ダメだよつ

どれどれ、
さわってみようかなー?

うひかっ!
!

うわー、
おちんちんつて
ホントにかたくなるんだねー

じゅんちゃんたら可愛い声出てるよ?
ホントに女の子みたい

※押し付けてるだけ



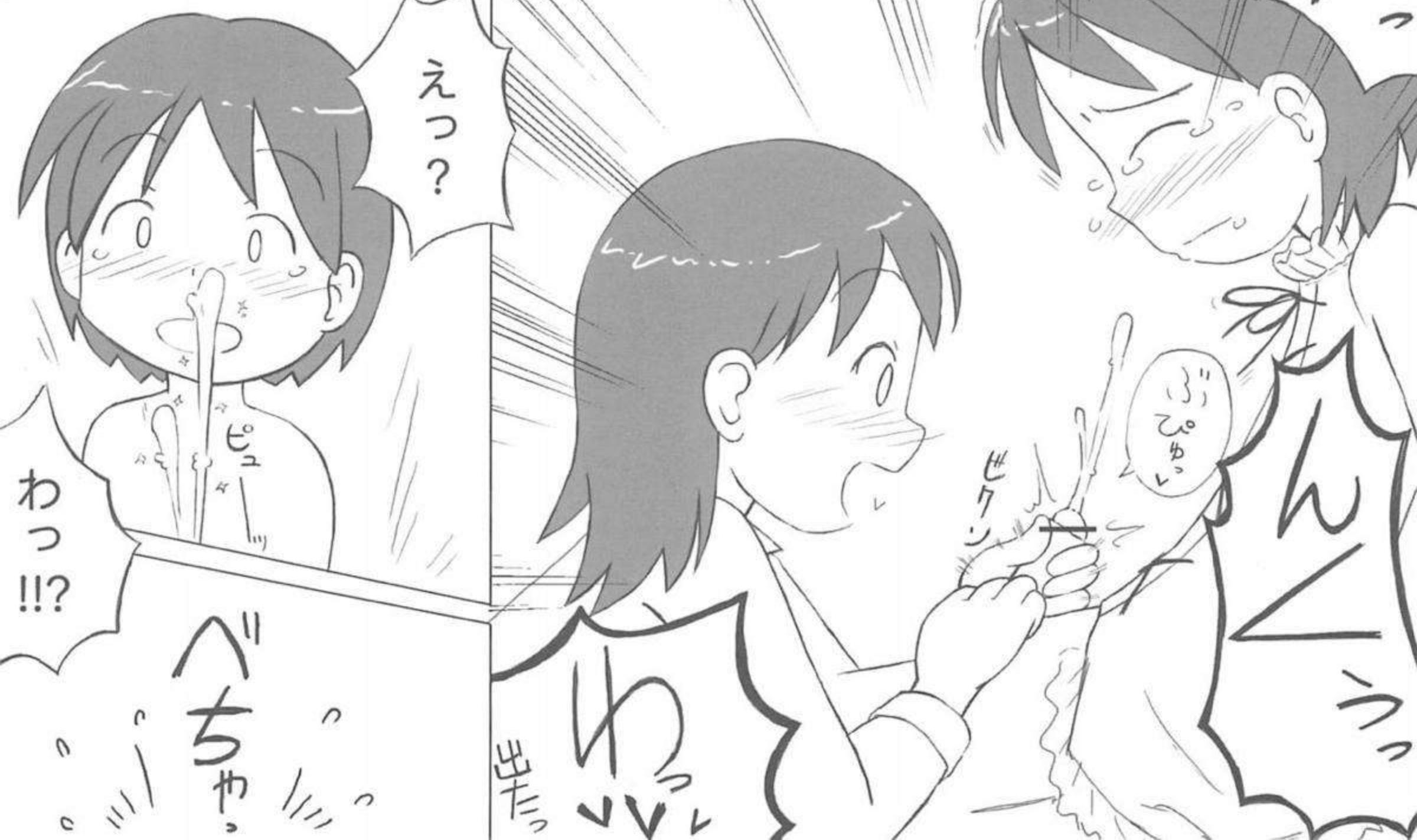


06











氣持ちよさと恥ずかしさで
おかしくなりそうなのを
必死に我慢の弟







てゆうか！

嬉しいのか弟よ？

姉のじやだめか？

よ、ようちゃんの…！

あー！
じゅんちゃん
つたら：

ダメだよつ、んもう

物事には順序つてものがあるんだからつ
ムードつてものがあるでしょ？
んもう、男の子はすぐがつつくんだからつー

何でボク怒られてるの？

がつつくつて、
ようちゃんが勝手に
脱いだんじゃないかーっ

てゆうかこの状態で
ムードつて何！？

おぱんつよりも
こつちがいいの？

くは。

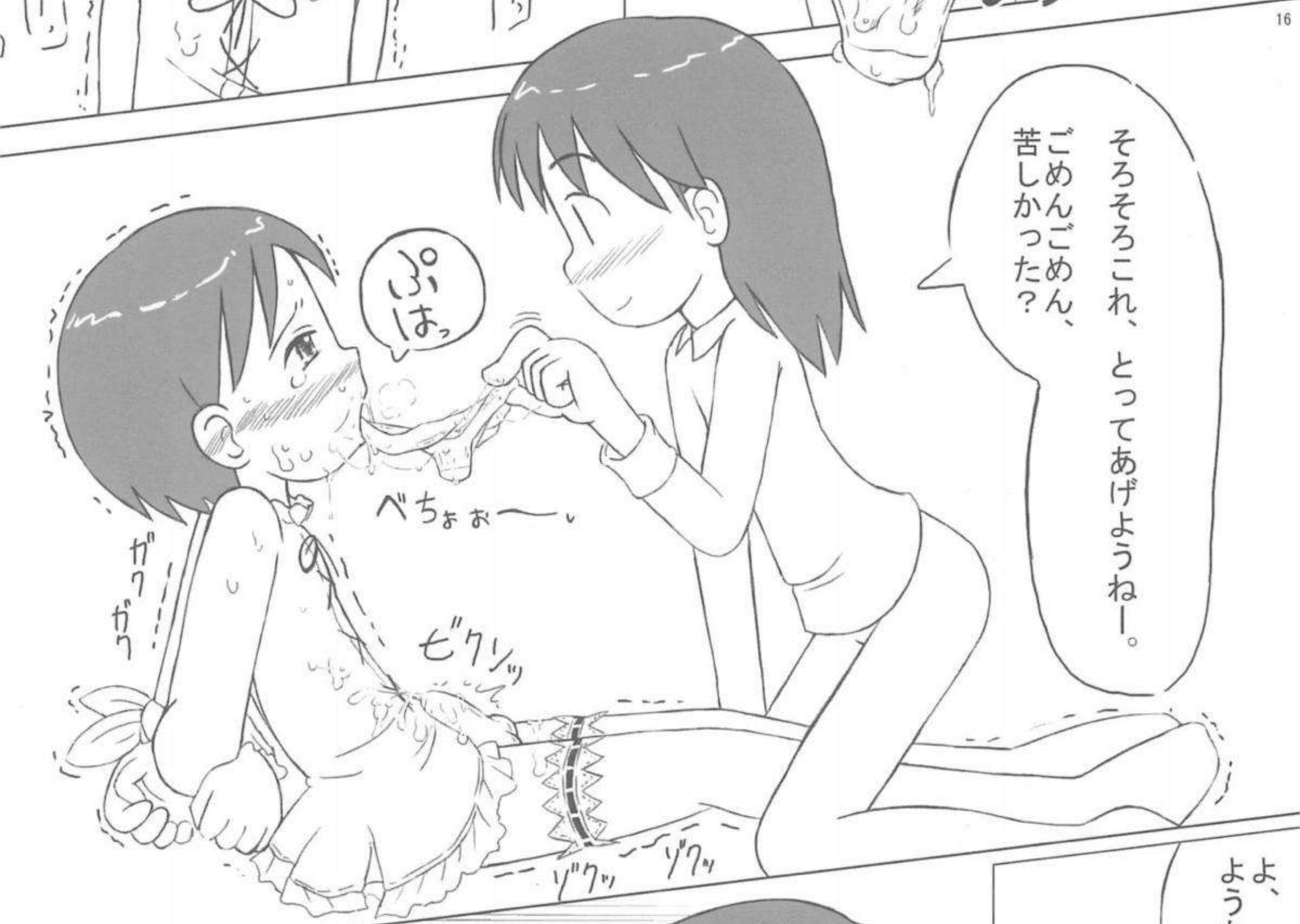
とさかー。



14







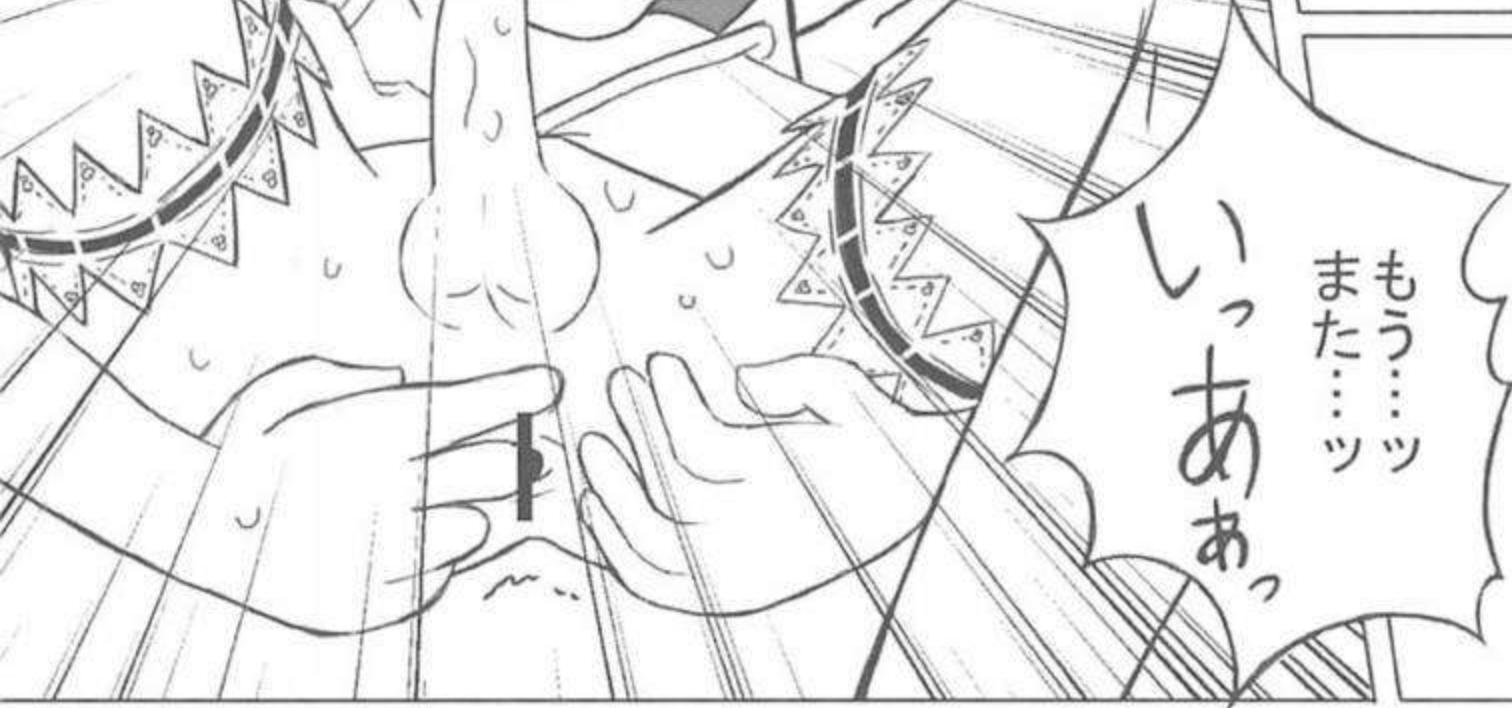




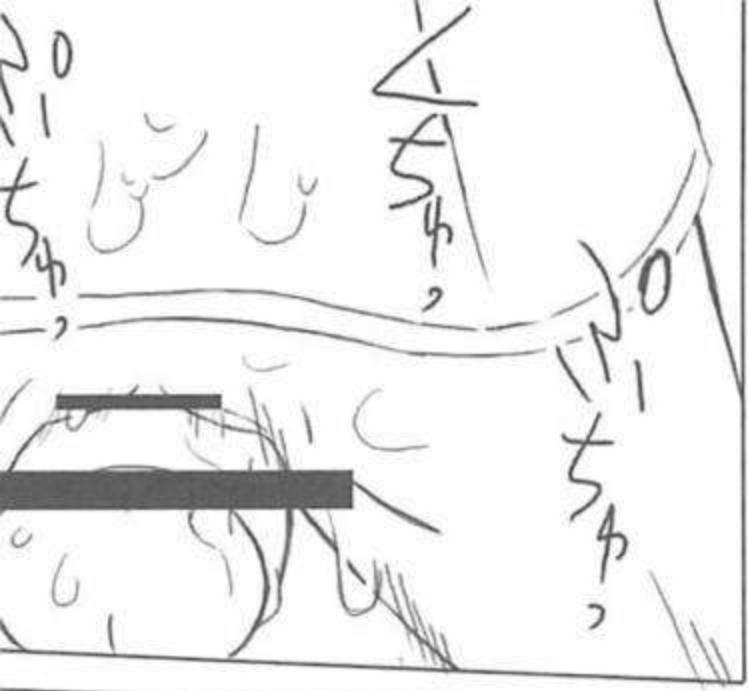
















：で

夕ゆいフフ

ごめんなさい

後書きってゆうか中書き？

というわけでここにちは。ふりりです。
なんかもういろいろ激しく見積もりまちがったので
こんなところに後書き＆奥付があつたりする不思議構成です。

万田編の導入部、間に合いませんでした。すいません。
万田編のオチ、間に合いませんでした。すいません。
中表紙、間に合いませんでした。すいません。
目次、はなっから予定にありませんでした。えへ。
春風編、なんかすごいことになってます。すいません。
あやまってばっかりです。すいません。

と、とりあえずあれです、
春風編は、万が一なにか再録とかする機会があったら
きっちり描きなおしたい所存ですが、
そんな本が出る予定はこれっぽっちもありませんですか。そうですか。

…つ、次はがんばります。きっと。…えへへ…

奥付

He111Z-2 「姉妹本」
104.10.10発行

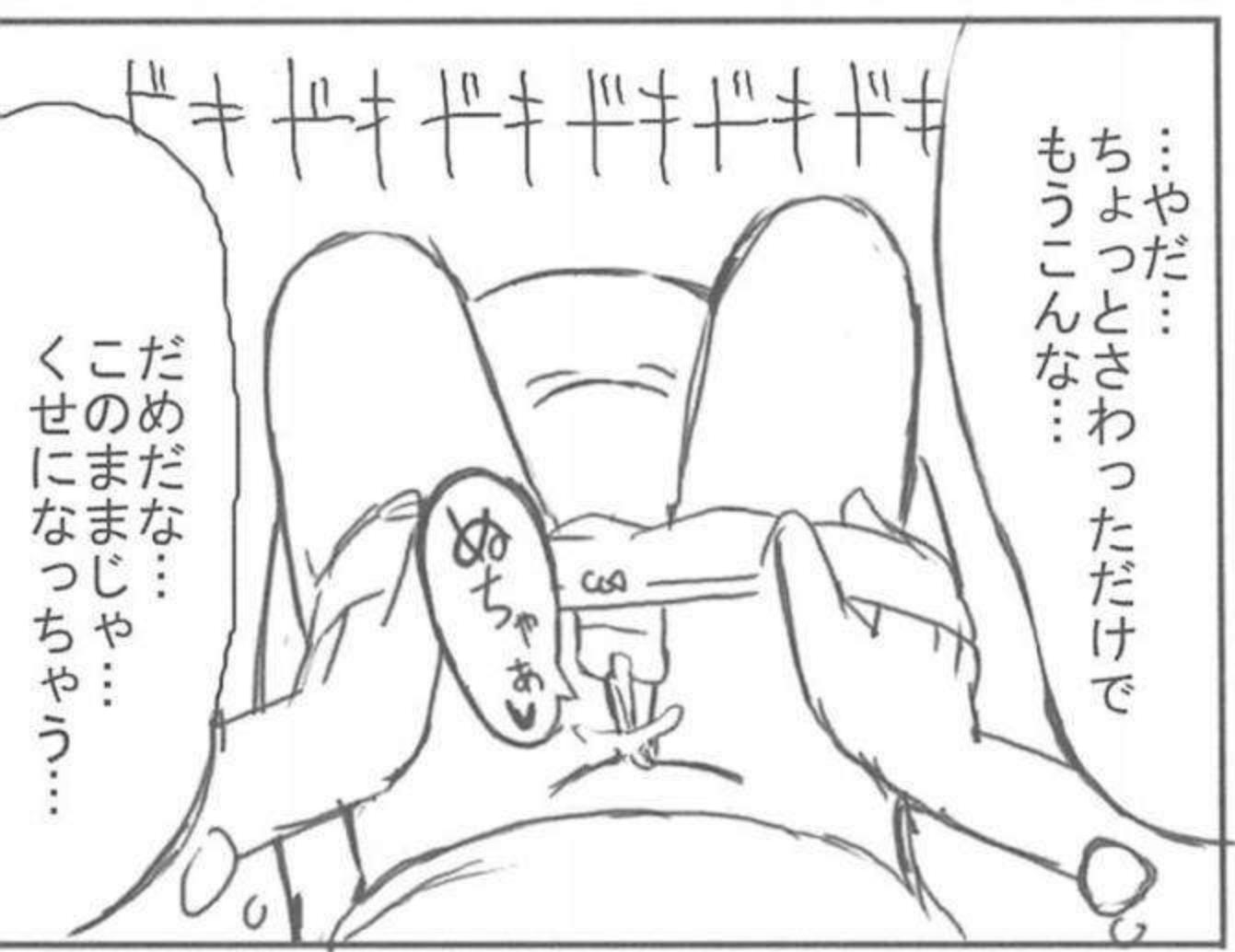
印刷・ねこのしっぽ様

甘味処USB / ふりり
<http://anzu.sakura.ne.jp/~usb/Sweet/>
huri@mvb.biglobe.ne.jp

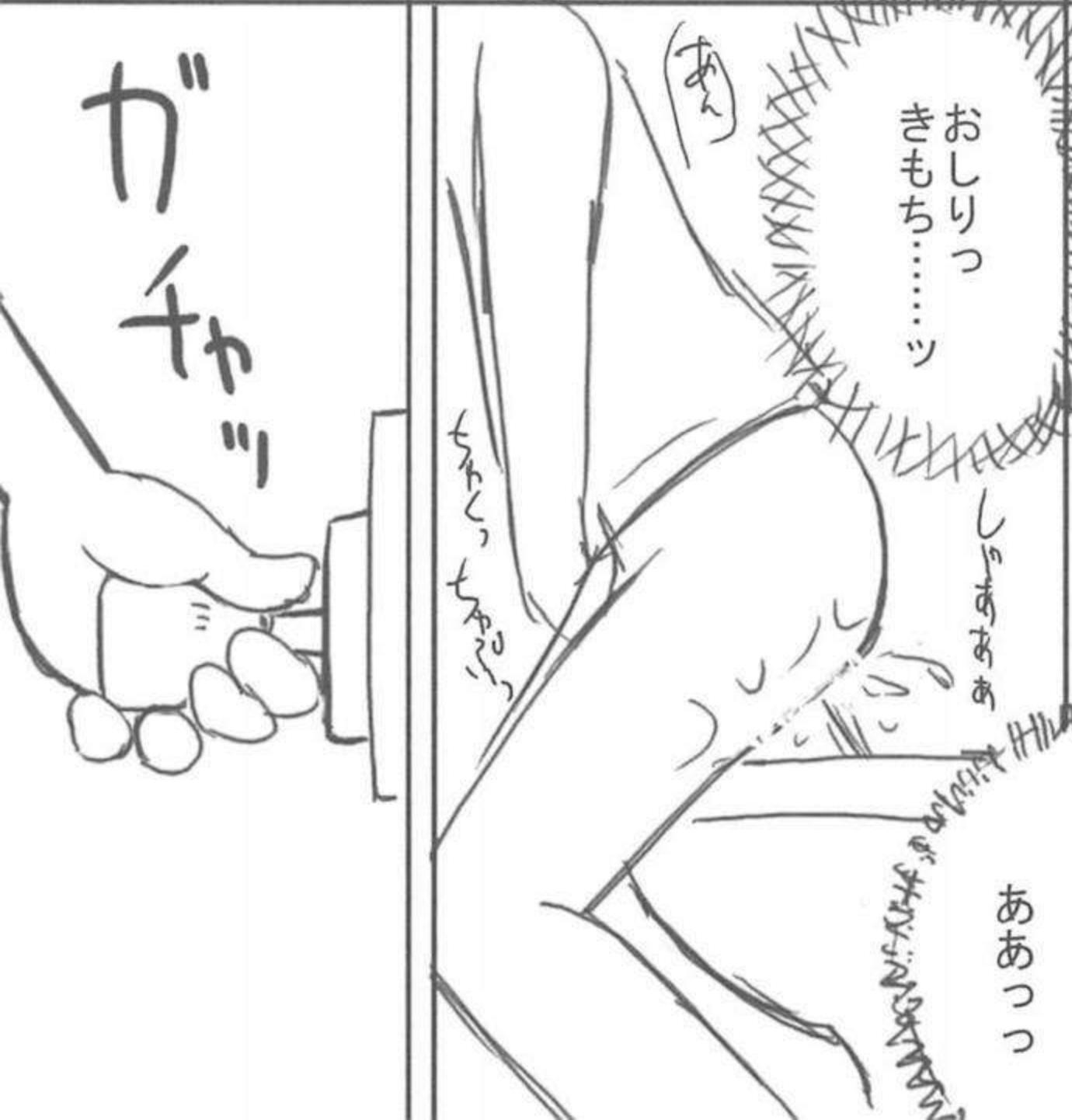


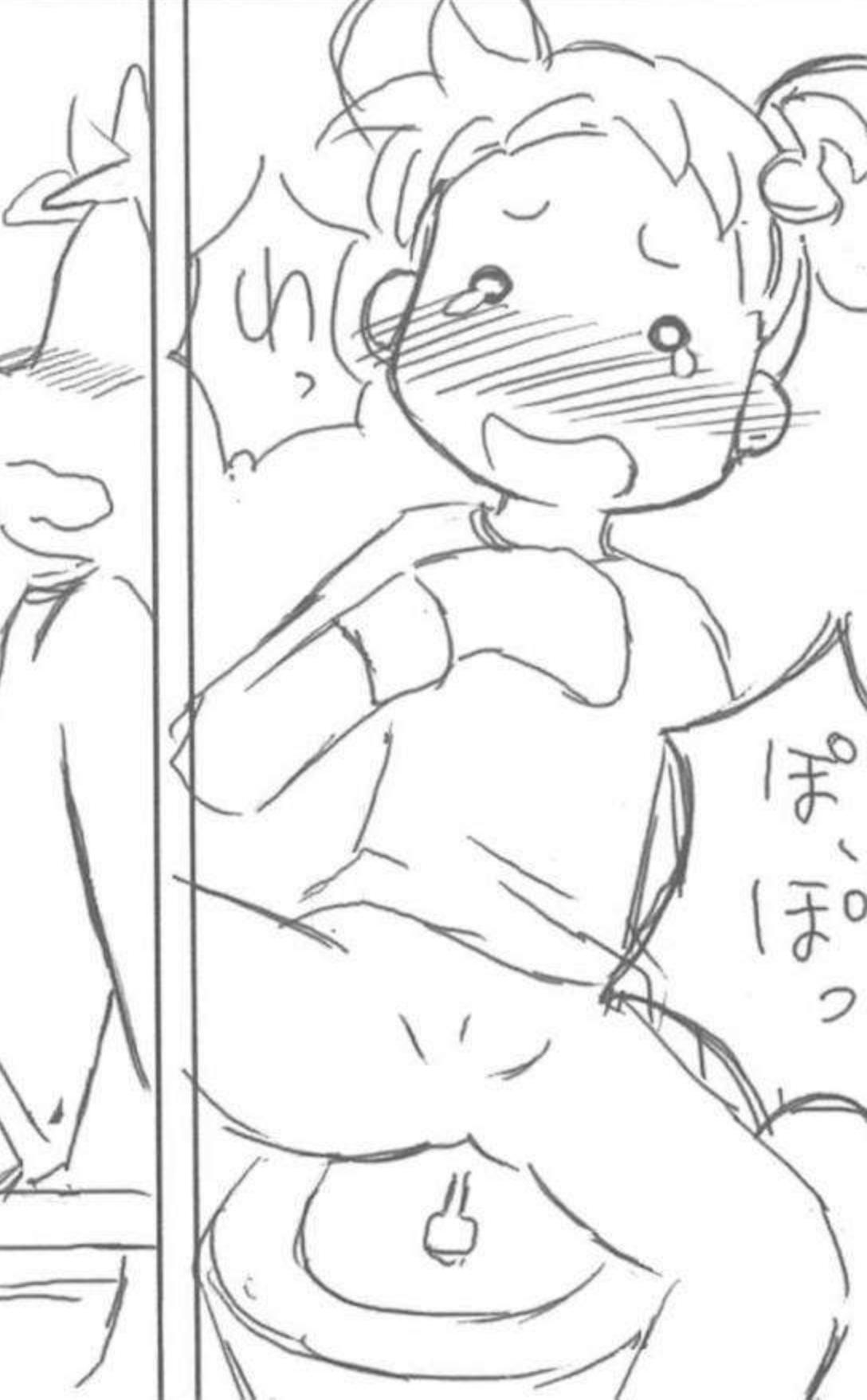
ただいまー













おねえちゃん
学校から帰つてたつてわけだ。
弄つてたつてなり

ちよ、ちょっとなによこれ

いい？ 今時ちんたら
呪文となえるのなんて流行らないの。

と、いう「」とで
早速……

呪文とならぬかそもそも呪文や
魔女見習い用のものであつて
魔女になつた時点であります
必要なくなるものでしょ？

はあ： 何すんのよほどきなさいつ
うんもう： つてゆうかあんた
おちこぼれのおジヤ魔女なのよー

びゆあれば
大体あれぬ
見習いがなれば
魔法は短くなり完全にイメージだけ
可ほつまり、きつちりと集中＆練り込みを行えば
能のなんちよつとの呪文でも十分効力を発揮する
んですう。 所詮サポートアイテムよつ
：あと服なんて
あるわけですね

？？？

必要やつぱりオシオキが
みさん！

何よ
その

やっぱ
わからんいか：

ぽ、
ぽつぶうツ！

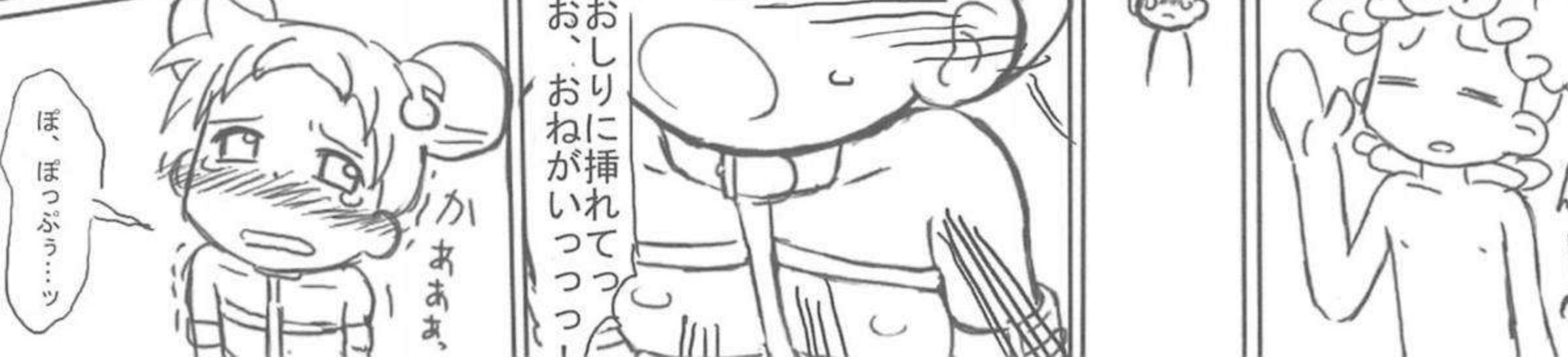
ちよ
こらつ
つ！

ナキ

あら、さつきので
十分ほぐれて
ますねえ♪

やれり





ほどほど
こを苛めて
おねーえちゃん♪

初経おねえまちちゃん
レでもいい手が一?

用二えませー!









甘味
処USB

